

学校の概要

河内小学校は、三次市の北部にあり、旧・君田村、庄原市口和町と境を接する広い校区をもっています。平成15年まで穴笠地区、山家地区にそれぞれ分校が設置されていました。

校区の戸数は、現在約260戸となり、それに伴い、児童数も減少を続け、現在、3学級編成の完全複式学級となっています。しかし、地域全体で学校（子ども）を支えようとする風土は引き継がれており、地域の温かく高い教育力に包まれながら児童は元気に明るく育っています。また、地域と協働した平和学習を継続し、平成29年度から、児童が育てた平和の菊を8月6日の広島平和記念式典に自ら献花し、平和について考える学習を続けています。



平和記念式典への献花活動

また、河内まちづくり連合会による全児童を対象とした『放課後子ども教室』が設置されており、地域を挙げて子供達の生活や学習を支援しようとする体制が確立されています。また、登下校時の見守り活動も行われており、児童は安心して登下校をしています。

本校では、三次中学校区として、令和3年度の「三次市コミュニティ・スクールモデル校事業」の指定を受け、令和4年度より「みよし学園学校運営協議会」が始動しました。地域と学校で「どのような子どもに育てたいか」、子どもたちにとっては「なりたい自分はどのような自分か」ということを、地域と学校、子どもたちが、お互いに目標・ビジョンを共有しながら、ともに歩みを進めています。



みよし学園 校区一斉ボランティア清掃

また、令和3年度～5年度において広島県教育委員会指定「キャリア教育の充実を中核としたカリキュラム開発事業（三次中学校区）」の指定を受け、キャリア教育を視点とした、小中9年間で目指す資質・能力の育成を目指しています。